神和台

平成3年12・30
第39号

秋の吉備路と瀬戸大橋

自治会バスツアー同行記

さあ出発

神和台自治会の今年の小旅行は、「秋の吉備路と瀬戸大橋」でした。参加者は予定いっぱいの四十五人。ご婦人が七割方を占めていましたが、ご夫婦づれや単身の方など多彩な顔ぶれ。

十一月二十三日午前七時半、神和台を出発。名谷ICから一路山陽自動車道を西へ。スタート早々参加役員をはじめ参加者全員が一人一人立ち上がって自己紹介をしました。日ごろ見かけたような顔でも、ついつい言葉を交わすこともない人たちが、それぞれ個性たっぷりの自己紹介を披露します。〝ああの人が〟〝あのお家の人か〟といった具合に、皆うなづいたり、意外な一面を発見したりでそのつど拍手がおこりました。

司会役は、前年に引き続き武田総務部長の奥さん（プロのガイドさん）でした。巧みな話術とソフトなタッチはさすがです。しかも気のきいた〝遊び〟（漢字の判じものなど）もとりいれて一同を楽しい雰囲気に包みました。「十万円以下」の豪華賞品を手中にした人も出ました。バスの専属ガイドさんもベテランでしたが、この奥さんには終始たじたじで、すっかりカブトを脱いだ様子でした。

カラオケ大会

そのうち午前の部のカラオケのはじまり。プロはだしもいれば、素人むき出しもいる—上手下手はどちらでもいいのです。とにかくなごやかな空気がいっぱいになりました。座席の歓談もはずむ。

兵庫と岡山の県境からブルーハイウェイに入ります。名前はりっぱですが、県道に毛の生えたぐらいの風情ある有料道路。それを一路南に向け走ります。途中、岡山県・邑久町ではあの「待てど暮らせど来ぬ人を…」で知られる美人画家、竹久夢二の生家を左手に見て進みました。

目的地到着

吉備路の秋を眺めながら、やがて本四連絡路に入ります。このあたりから交通量はふえましたが、予定どおり瀬戸大橋にのり、与島到着は午前十時三十分。全員集合して記念撮影（カメラマンは二丁目副会長奥平さん）それから一時間の自由行動です。

大橋のかかる島島の中で、一番お金の落ちているといわれるこの与島は、全島が立体化、近代化されています。遊覧ヘリコプターもあれば大型覧光船（咸臨丸）もあるといった調子で、〝お上りさん〟もワンサとつめかけていました。お土産ものは一般に高値がついているような印象です。

それにしてもこの吊り橋、鉄道橋としては世界一というのですが、見上げれば見上げるほど巨大なものでした。この瀬戸大橋、すでに故人となった元神戸市長で工学博士の原口忠次郎さんが、四十年くらい前から提唱していた一大プロジェクトなのですが、故人が完成を目のあたりにしたかどうかは定かではありません。何にしても、先覚者たちの先見の明には頭が下がりました。

新鮮な海の幸の昼食

昼食は、大橋を逆戻りして本州側の基点下津井港の料亭『ふく仙』です。評判の瀬戸内料理というのですが、ネタは新鮮そのもの、なかなか結構なものでした。下津井を出ると次は倉敷。途中、相当な交通渋滞でしたが、連休初日とくれば仕方のないところ。倉敷は人で人であふれ返えっておりました。

倉敷の町を散策

大原美術館や倉敷川周辺の散策など思い思いの自由行動ですが、一時間半では正直何も出来ません。そのうえ、どこにいっても人の洪水。見物代わりにコーヒーショップで時間をつぶした人もあったようです。やっぱりこんなところは、閑散期をねらって行くのが本当なのでしょうね。

さて、倉敷を出ると最終訪問地の備前焼窯元です。ここでも途中、交通渋滞にまきこまれ三十分ばかり損をして備前焼（伊部焼ともいうそうです）の本場、JR赤穂線伊部駅に着いたのは午後四時四十分でした。雨もポツポツ、あたりも暗くなってきました。予定時間のおくれで、窯元に行けなかったのは残念でしたが、美芸工芸館の見学などをして五時十分出発。早朝からのバス行で、このころになると一同ぐったりした表情。あとは帰路を急ぐばかりです。

トンネル続きの山陽自動車道を疾駆するころは本降りとなりましたが、車内ではのこりのカラオケも散発的に飛び出していました。

無事帰宅

この日の小旅行は、絶好の秋日和とまではいかなかったのですが、外では雨に降られることもなく、気温も高め、まずまず快適な旅を楽しむことが出来ました。

神和台帰着は午後七時半、ちょうど雨も小止みとなっていました。みなさま本当にご苦労さまでした。来年もまたお会いしましょうね。ではお元気で…。

同行記（三丁目副会長・森下記）
写　真（二丁目副会長奥平敏三）

暮の火災予防について

防災部

今年も残すところ数日に押し迫ってまいりました。日頃より会員の皆様には何かと防災部に対しての御協力を頂き有難とうございました。

さて、一年間を通して、火災の発生が最も多い時期を迎へ、皆様の生活が安全でより快適なものである事を願っておりますが、もう一度心のスキに入り込もうとしている恐しい火災に対してチェックしてみてはいかがでしょうか。

まず 火災予防に関しての記事を御紹介しますので、少しでも皆様の心の片隅に残れば幸に存じます。この記事は神戸市消防局からのパンフレットの中から一部抜萃したもので、きっと皆様のお役に立つと思いますので、是非御覧下さい。

住宅防火対策①まず火を出さないこと——火災を未然に防ぐ為に安全な調理器具や暖房器具、防災製品を使う等、お年寄りの方には特に用意したいものです。②警報器で早く火災に気づくこと③強化液消火器を家庭に備え早く消火すること。④あぶないと感じる前に逃げること。万一、不幸にして火災が起きてしまったら、早く知らせて助けを求める事が大切です。どんな小さな火でも、とにかく大声を出して家族や近所の人に知らせると共に、「119番」に通報して下さい。また、天ぷら油火災、放火、たばこ、子供の火遊び等、火災の多発する季節ですが、一人ひとりが防火に関心をもち、よりよい年を迎える為に日々努力したいものですね。

小松 弘子

親子釣り大会

11月17日の日曜日、垂水区子ども会連合会の主催で、平磯海釣り公園にて親子釣り大会が催されました。我が神和台子ども会からは6組の親子が参加しました。

午前5時20分、目をこすり、大あくびをしながら、真暗な中、神和台の坂を車を走らせてイザ出発。途中、釣りエサ屋に寄り、イソメ、マムシ、シラサエビ、アミエビ等、生きのいいエサを調達して準備も万端整ったり。

さて、会場到着午前6時前。すでに腕自慢の釣り公方達がわんさと来ていて、まだ日も明けやらぬ中、我こそとばかりに釣り糸を垂れていました。遅れてはならじと、神和台組も次々に竿を振る。何しろ肩も触れ合わんばかりの大人数。一般の釣り人に混じっての大会なので、チビッ子のオマツリに付き合わされた隣の釣り人は、とまどっている子に「そのままにしててね。」と優しく言いながら、からんだ糸を根気よくほどいてくれました。親としては、感謝、感謝。父も母も子も、だんだんに白み、やがてオレンジ色に染まっていく海に向かって、一心に「お魚さん、寄っといで！」と頑張りました。

アッという間の4時間経過。制限時刻を告げる区子連のアナウンスが流れ、それぞれの獲物を大切そうに抱えて、公園内のレストラン前に集合。この日の釣果は、数は少なめだが、サヨリ、ガシラ、メバル、アイナメ、カワハギ、ベラ、トラギス、カレイ、アコウ、ボラ、コノシロ、ハオコゼ、タコ、その他多種にわたって釣れました。魚の検寸をしてもらい、サヨリの部、ガシラの部、…という風に各部によって一位～三位を決定。歓声やら溜め息やら。入賞者は、釣り竿、クーラー、リール等の賞品をもらって大喜び。入賞以外にも参加賞として全員が釣り竿をもらい、加えて協賛の釣り具メーカーからのプレゼントもあって、くじで決めました。

当日までのくずれがちな空模様とはうって変って、ぬける様な晴天に恵まれ、親子で半日楽しい時を過ごし、お土産を手にホクホク顔の帰宅と相成りました。

中島ちよ子

環境部より

公園の中、周辺及び緑道等に、犬のフンが目立ちます。飼い主の方は、責任をもってフンの処置をお願いします。又、子供さんだけでスコップや袋を持たないで犬を散歩させているのをみかけますが、ご家庭の指導をよろしくお願い致します。

最近、路上駐車が非常に目立ちます。特に、北公園から外周に出るT字の所は、毎日のように止めてありますし、ガードレールにより見通しが悪いうえ、通行の妨害になっています。(数カ月前にも事故がありました。)ちょっとした一時駐車の場合でも、十分気配りをおねがいします。

荒ゴミステーションに、仏壇と自動車オイルの入った缶が持ち込まれていました。仏壇は、業者に引き取ってもらうか、解体してヒモでくくって出して下さい。又、オイルは、少量なら新聞紙にしみこませて生ゴミとして出すか、缶ごとガソリンスタンド等に引き取ってもらって下さい。

岡本 隆雄

神戸市長より「感謝状」を受ける

神和台自治会は今年の10月神戸市長より「環境美化功労者・団体に対する市長感謝状」を頂きました。これは神戸市環境局が毎年一回、神戸市内で環境美化活動に功労のあった団体、個人を対象に感謝状を贈るもので、神和台自治会も今年初めてこの感謝状を頂くことになったものです。

これもひとえに自治会環境部や歴代役員をはじめ、会員各位の日常努力のたまものと厚く御礼申し上げます。

今年度この感謝状を受けたのは神戸市内で21団体と26個人ありました。神和台自治会ではこれを励みに今後一層環境美化に努力を続けてまいりますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

会長 森下 高行

俳句と短歌

「俳　句」

台風や　青葉もぎとり　宙に舞い
台風に　秋を間引かれ　初冬の候
柊（ヒイラギ）や　足止まらせる　小さき花
中村美佐子

河口湖　銀色輝く　富士写す
澄み渡る　空に終日　雪の富士
晩秋や
はげしく燃えるフラメンコ
（河口湖にて）
速水　絹子

音も無く　傘に夕べの　時雨かな
はらはらと銀杏舞い落つ日暮かな
廃屋に　あるじしのびてつわの花
塩崎　吟子

小春日や　蔦の輪高く　二ツ三ツ
うたゝ寝の炬燵に三毛の添寝かな
短日（ひびか）や　為すすべもなく師走来る
塩崎　岩雄

愛し子の　幸い願う　七五三
年の瀬や　物忘れ更にひどくなり
薮野　信枝

「川　柳」

乱斗も　シナリオ通り議事のうち
塩崎　岩雄

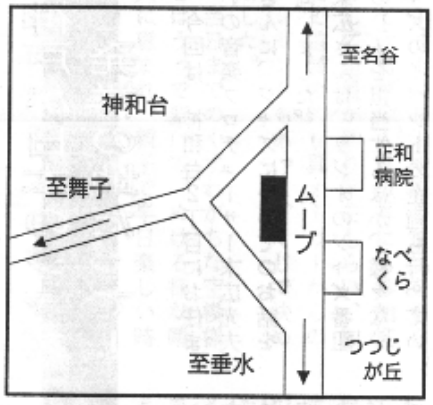
「短　歌」

台風にめげず育つや菊の花
心かよわす朝な夕なに
薮野　信枝

秋たけて残る虫の音哀れなり
我れもしづかに物思いをり
夢に見る夫若（ワカ）くして元気なり
今おわすれば如何に暮らさん
送られしいとこの形見前にして
又一しきり涙おぼほゆ
小林　信子

参観の縁に恵まれ平安の
歴史偲べり秋晴れの日に
平安の遠き昔を偲びつゝ
暫し佇む紫宸殿の庭
見上ぐれば右近の橘高き枝（エ）に
小粒の蜜柑秋陽に映える
野呂　次夫

HAIR SALON MOVE



ヘアーサロン　ムーブ

OPEN　9：00AM～8：00PM
定休日　毎月曜日　第2・3月・火連休
TEL　795－6776
Ⓟ駐車場有ります（ビル地下3台）

大人	¥3,000
小人	¥1,500
中学二枚刈り	¥1,500
パーマ	¥6,500以上
ポイントパーマ	¥4,500～6,000
白毛染め（カット込み）	¥5,500

広告掲載を開始

11月の自治会役員会で広告の有料掲載を決定しました。

掲載費（1回）

・全面　2万円
・1段　4千円
・½段　2千円

お申し込みはお近くの自治会広報部員まで

編集後記

その時の出逢いが、人生の根底から、変える事がある、よき出逢いを。（相田　みつを）

平成三年もあと一日になりました。

今年度の広報紙に記事、写真等をおよせいただいた皆様に深く御礼申し上げます。

来年も、よろしく御願いします。よいお正月を、お迎え下さい。

編集部